

平成25年3月期 本決算説明会

平成25年5月15日



ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

Contents

- 
1. 25年3月期業績の総括
 2. 25年3月期の概況
 3. 計測・計量機器事業 実績-1
 4. 計測・計量機器事業 実績-2
 5. DSP事業の業績
 6. 医療・健康機器事業 実績-1
 7. 医療・健康機器事業 実績-2
 8. 財務分析(貸借対照表)①
 9. 財務分析(貸借対照表)②
 10. 財務分析(キャッシュフロー)
 11. 設備投資・減価償却費の推移
 12. 26年3月期通期見通し
 13. 計測・計量機器事業 見通し-1
 14. 計測・計量機器事業 見通し-2
 15. 医療・健康機器事業 見通し-1
 16. 医療・健康機器事業 見通し-2
 17. 電子式風洞天秤
 18. 大型タイヤベルト試験機
 19. PM2.5測定用マイクロ天秤
 20. メディカル計量器シリーズ
 21. NFC通信機能付き健康機器
 22. 補足資料

25年3月期業績の総括

ハイライト

- 国内の景気回復の足取りが重く、計測・計量機器が伸び悩むが、DSP機器が大幅に伸長
海外はロシアの健康機器を中心に堅調に推移
- 売上の増加に伴い、営業利益・経常利益が伸長
- DSP事業はこれまでの積極的な開発投資の結果、自動車業界におけるブランド認知度が向上し、国内及び北米を中心に大きく売上が伸長

25年3月期の概況



(単位：百万円)

連結損益	24/3期 (実績)			25/3期 (実績)	前期比	25/3期 予想	予想比	コメント
		上期	下期					
売上高	30,968	15,162	19,152	34,313	+10.8%	34,000	+0.9%	
売上原価	16,633	8,158	10,658	18,816	+13.1%	18,300	+2.8%	
販売費及び 一般管理費	13,363	6,860	7,329	14,189	+6.2%	14,100	+0.6%	
営業利益	971	144	1,165	1,309	+34.7%	1,600	-18.2%	
経常利益	702	-154	1,183	1,029	+46.5%	1,230	-16.4%	支払利息343
税引き前 利益	649	-89	1,176	1,087	+67.6%	1,226	-11.3%	
当期 純利益	574	-167	1,070	903	+57.1%	940	-4.0%	
1株当たり 利益(円)	28.44	-8.26	52.63	44.37	+56.0%	46.48	-4.5%	

(注1) 25年3月期予想は、平成24年5月11日付の「平成24年3月期 決算短信」にて発表した予想であります(以下同じ)。

(注2) 円安による25年3月期業績への影響は、僅少であります。

計測・計量機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		24/3期 (実績)	25/3期 (実績)		前期比	25/3期 予想	予想比	
			上期	下期				
計測・計量 機器事業	売上	18,006	9,099	10,823	19,923	+10.6%	20,220	-1.5%
	売上原価	10,119	5,122	6,360	11,482	+13.5%	11,460	+0.2%
	販管費	7,290	3,726	3,893	7,618	+4.5%	7,660	-0.5%
	営業利益	598	252	571	823	+37.7%	1,100	-25.2%

1. 自動車関連向けDSP製品を中心に売上が伸長

⇒売上は前期比10.6%増（通期）

2. 売上増に伴い、営業利益が増加

⇒営業利益は前期比37.7%増（通期）

計測・計量機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製品種別	24/3期 (実績)			25/3期 (実績)	前期比	25/3期 予想	予想比
		上期	下期				
計測機器	3,335	1,669	1,727	3,396	+1.8%	3,800	-10.6%
計量機器	10,725	5,434	5,487	10,921	+1.8%	11,240	-2.8%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	3,360	1,672	3,230	4,902	+45.9%	4,480	+9.4%
電子ビーム関連ユニット	586	324	379	704	+20.1%	700	+0.6%
売上合計	18,006	9,099	10,823	19,923	+10.6%	20,220	-1.5%

計測機器 : 普及が一段落した熱中症指数計を始め、全体的に伸び悩み

計量機器 : 台秤・ロードセルを中心に堅調に推移

DSP : 自動車関連を中心に大きく伸長

電子ビーム関連ユニット : 依然として低調ではあるものの、計画通りに伸長

DSP事業の業績

(単位：百万円)

	用途種別	23/3期 (実績)		24/3期 (実績)		25/3期 (実績)	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期
DSP事業	自動車関連	1,461	1,272	872	2,011	1,443	2,919
	試験機関連	41	45	45	46	38	37
	その他	117	389	131	255	191	275
	小計	1,619	1,706	1,048	2,313	1,672	3,230
既存事業への DSP技術応用	特殊試験機関連	39	265	97	191	26	116
	計量制御関連	53	59	38	58	92	76
	医療機器				3	13	61
	小計	93	324	134	251	131	253
合計		1,712	2,030	1,182	2,563	1,803	3,483
売上合計 (通期)		3,742		3,745		5,287	

自動車業界におけるブランド認知度の向上の結果、国内及び北米の自動車関連を中心に大きく伸長

医療・健康機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント	24/3期 (実績)	25/3期 (実績)		前期比	25/3期 予想	予想比	
		上期	下期				
医療・健康 機器事業	売上	12,961	8,328	14,390	+11.0%	13,780	+4.4%
	売上原価	6,434	4,150	7,202	+11.9%	6,840	+5.3%
	販管費	4,889	2,829	5,278	+8.0%	5,220	+1.1%
	営業利益	1,638	1,349	1,911	+16.6%	1,720	+11.1%

1. 家庭用血圧計・メディカル計量器を中心に堅調に売上伸長

⇒通期では売上高は前期比11.0%の増加

2. 売上の増加に伴い、営業利益増

⇒営業利益は前期比16.6%増加

医療・健康機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製 品 種 別	24/3期 (実績)	25/3期 (実績)		前期比	25/3期 予想	予想比
		上期	下期			
医 療 機 器	2,389	1,216	1,476	+12.7%	2,580	+4.3%
健 康 機 器	10,572	4,847	6,852	+10.7%	11,200	+4.5%
売 上 合 計	12,961	6,062	8,328	+11.0%	13,780	+4.4%

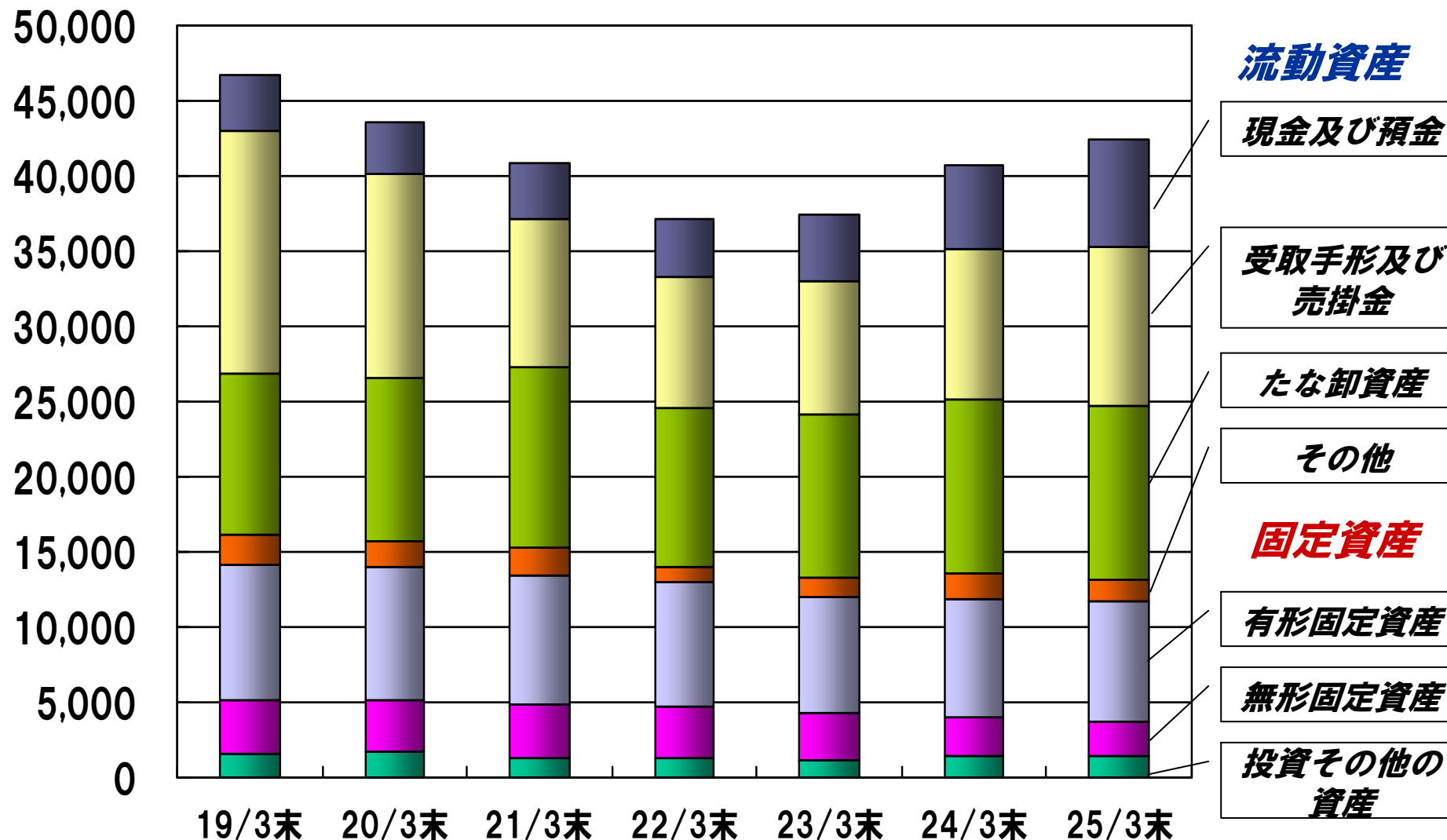
医療機器：国内は前期に引き続きメディカル計量器の売上拡大に加え、治験のための携帯型血圧計などが伸長

健康機器：新製品の投入や新規開拓等により家庭向け血圧計が日本・ロシアを中心に堅調に推移

財務分析（貸借対照表）

貸借対照表分析 資産の部

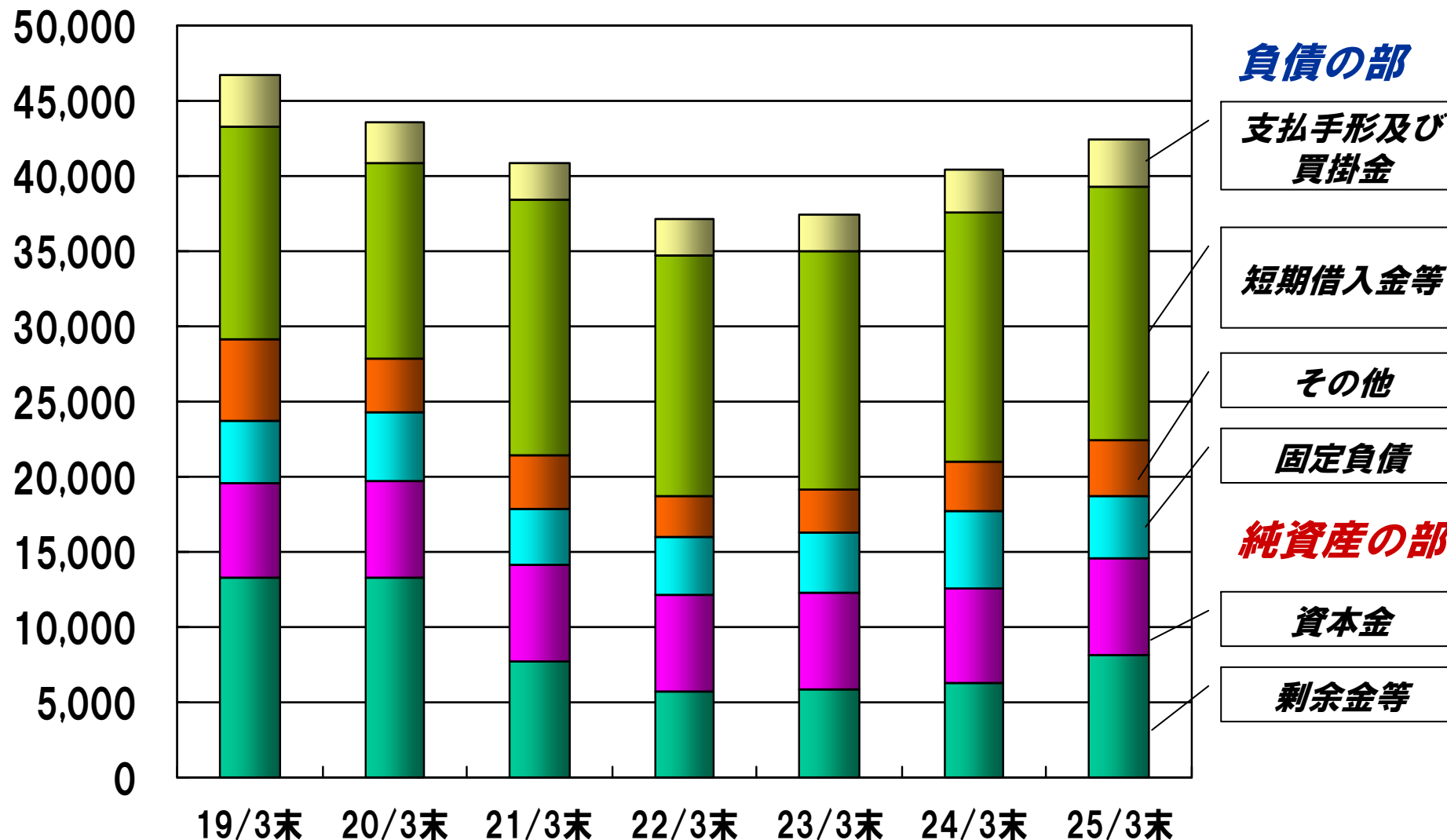
(単位：百万円)



財務分析（貸借対照表）

■ 貸借対照表分析 負債・純資産の部

(単位：百万円)



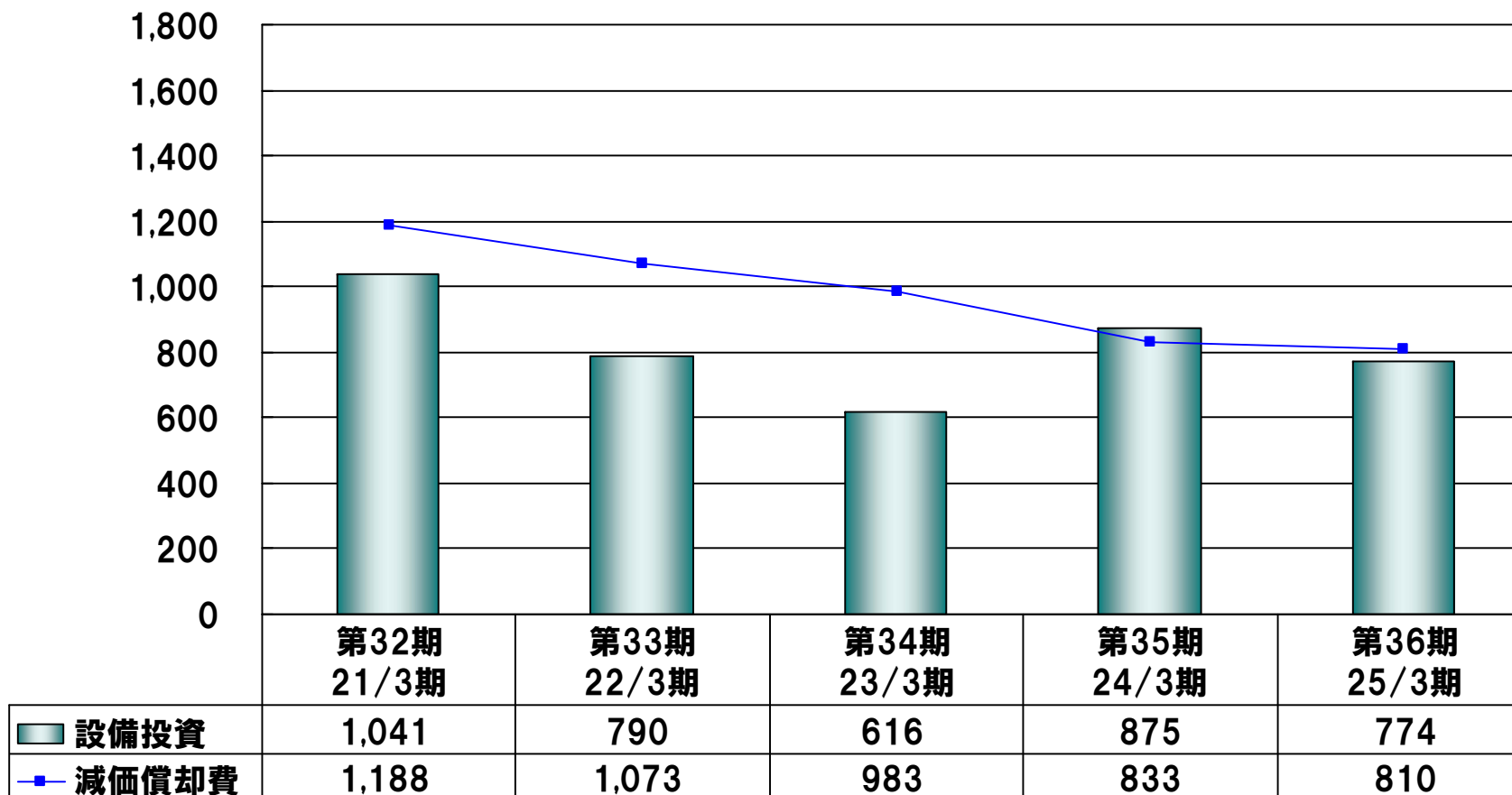
財務分析（キャッシュフロー）

■ キャッシュフロー分析

連結キャッシュフロー	24/3期 (実績)	25/3期 (実績)	コ メ ン ト
営業活動によるCF	947	3,077	税金等調整前当期純利益+1,087、 減価償却費+1,207、 棚卸資産の減少額+676
投資活動によるCF	△1,341	△691	有形固定資産の取得による支出△734
財務活動によるCF	1,595	△1,069	長期借入れの返済による支出△865
現金及び現金同等物の 増減額	1,140	1,528	
現金及び現金同等物の 期末残高	4,694	6,222	

設備投資・減価償却費の推移

(単位：百万円)



注) 上記、設備投資額及び減価償却費は固定資産に対するもののみ集計しております

景気回復の足取りが重く、経費抑制を継続する中、設備投資も横這い傾向

26年3月期通期見通し



(単位：百万円)

連結損益	25/3期 (実績)	26/3期 (予想)		前期比
		上期	下期	
売上高	34,313	17,800	21,400	39,200 +14.2%
売上原価	18,816	9,540	11,630	21,170 +12.5%
販売費及び 一般管理費	14,189	7,860	7,870	15,730 +10.9%
営業利益	1,309	400	1,900	2,300 +75.7%
経常利益	1,029	220	1,730	1,950 +89.6%
税引き前 利益	1,087	220	1,730	1,950 +79.3%
当期純利益	903	130	1,570	1,700 +88.3%
1株当たり 利益(円)	44.37	6.08	73.48	79.56 +79.3%

想定為替レート：1ドル=95円、1ユーロ=125円、1ルーブル=3.0円

計測・計量機器事業 見通し-1



(単位：百万円)

セグメント		25/3期 (実績)	26/3期 (予想)		前期比	
			上期	下期		
計測・計量 機器事業	売上	19,923	10,380	12,120	22,500	+12.9%
	売上原価	11,482	5,890	6,950	12,840	+11.8%
	販管費	7,618	4,130	4,090	8,220	+7.9%
	営業利益	823	360	1,080	1,440	+75.0%

1. 売上

設備投資の回復基調を背景に、計測機器・DSP事業を中心に、前期比12.9%の売上増加を見込む

2. 売上原価・販管費

DSP機器・試験機の標準化を進めることで製造原価のコストダウンを図り、営業利益の拡大を目指す

計測・計量機器事業 見通し-2



(単位：百万円)

製 品 種 別	25/3期 (実績)	26/3期 (予想)		前期比
		上期	下期	
計 測 機 器	3,396	1,680	2,170	+13.4%
計 量 機 器	10,921	5,890	6,160	+10.3%
計測・制御・シミュレーションシステム (DSP)	4,902	2,460	3,440	+20.4%
電 子 ビ ー ム 関 連 ユ ニ ッ ト	704	350	350	-0.6%
売 上 合 計	19,923	10,380	12,120	+12.9%

- 計測機器：** ・ 設備投資の回復基調を背景に大型試験機・計測器の拡販
- 計量機器：** ・ マイクロ天秤の設置環境コンサルティングを通じた拡販
 ・ 新興国向けボリュームゾーン製品の開発および拡販
- DSP：** ・ 幅広い技術力と製品群を活かし、多様なユーザーニーズへの対応
- 電子ビーム関連ユニット：** ・ 電子ビーム等を利用した応用市場を開拓

医療・健康機器事業 見通しー1



(単位：百万円)

セグメント		25/3期 (実績)			26/3期 (予想)	前期比
			上期	下期		
医療・健康 機器事業	売上	14,390	7,420	9,280	16,700	+16.0%
	売上原価	7,202	3,650	4,680	8,330	+15.7%
	販管費	5,278	3,110	3,160	6,270	+18.8%
	営業利益	1,911	660	1,440	2,100	+9.9%

1. 売上

新製品の投入、新興市場の開拓等により、売上は前期比16.0%増を見込む

2. 売上原価・販管費

生産効率化の推進で原価低減を図り、営業利益は前期比9.9%増加を見込む

医療・健康機器事業 見通し-2



(単位：百万円)

製 品 種 別	25/3期 (実績)			26/3期 (予想)	前期比
		上期	下期		
医 療 機 器	2,692	1,440	1,660	3,100	+15.2%
健 康 機 器	11,699	5,980	7,620	13,600	+16.3%
売 上 合 計	14,390	7,420	9,280	16,700	+16.0%

医療機器：・好調なメディカル計量器を中心に医療機器全体の販売促進を図る

健康機器：・新製品投入による新興国市場の開拓促進

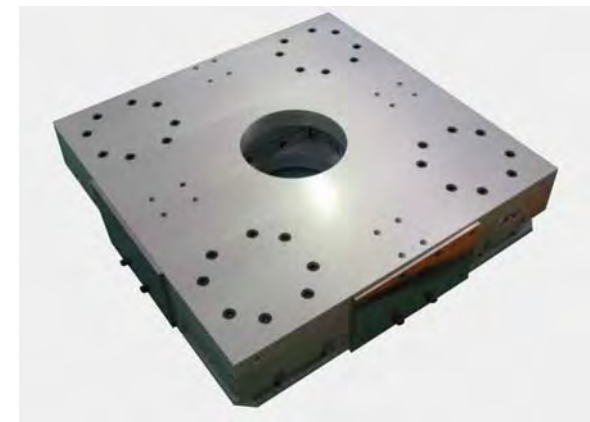
- ・IT技術活用により、スマートフォンユーザーおよび在宅医療・医療ICT（Information Communication Technology：情報通信技術）向け機器分野での売上伸長を図る

トピックス1～電子式風洞天秤

- ◆ 自動車の風洞による空力試験では、車体の受ける力を設備に組み込まれた6分力計によって計測しています（風洞天秤）。車両や移動床装置など、大重量を乗せての測定のため、従来は機械式天秤が一般的に使用されてきましたが、A & Dではこれを電子式6分力計で実現し、これまでにない精度と応答性を実現しました。
- ◆ 歪みゲージ式6分力計を組み合わせた剛性構造により、単体で20Hz以上の共振周波数を実現し、これまで測定できなかった動的な測定が可能となりました。
- ◆ 従来の機械式天秤と比較して、同容量で約1/3（高さ）のサイズで、風洞試験室の省スペース設計に大きく寄与します。
- ◆ 独FKFS（シュツットガルト自動車・原動機研究所）の風洞設備にも採用され、次世代風洞天秤のスタンダードとして期待されます。



50%スケール風洞



風洞用6分力天秤本体

トピックス2～大型タイヤベルト試験装置

- ◆風洞用ムービングベルトの開発で得たノウハウをタイヤ試験機に応用し、タイヤの接地面が実際の路面に近いフラットベルト上でタイヤに働く応力など様々な計測を行えるベルト式タイヤ試験機の開発に取り組んでいます。
- ◆A&Dではこれまで1ton以上の耐負荷能力を持つカーボンエアベアリングを開発し、数々のベルト装置に適用してきましたが、今回、独自のウォーターベアリングの開発により、最大負荷6tonまでの対応が可能となりました。



トピックス3～PM2.5測定用マイクロ天秤

- ◆PM2.5（微小粒子状物質）の標準測定法としては、米国EPAの連邦標準測定法（FRM）に準じたフィルタ法が採用されており、これはサンプラにより一定流量でフィルタ上に試料を捕集し、試料採取前後のフィルタの質量差を求めることで質量濃度を算定する方法です。
- ◆FRMの規定ではフィルタのコンディショニング及び秤量条件は「温度 $21.5 \pm 1.5^{\circ}\text{C}$ 、相対湿度 $35 \pm 5\%$ とし、コンディショニングは24時間以上とする」とされており、また、「秤量に用いる天秤の感度は $1 \mu\text{g}$ 感量のものを用いること」とされています。
- ◆その他の条件として、フィルタの材質であるPTFEは帯電性が高いため、静電気除去が不可欠であり、また天秤精度の保証や計量環境の整備も必要です。
- ◆A&Dのマイクロ天秤は静電気除去機能付の校正用分銅内蔵型の天秤であり、別売の計量環境ロガーの使用により、温度、湿度、気圧、振動と計量値の同時保存が可能です。



トピックス4～メディカル計量器シリーズ



医療機関・老人介護施設等で使用される各種医療専用体重計シリーズ



ベッドスケール
AD-4922



ストレッチャースケール
AD-6051



業務用体重計
AD-6209 / AD-6210



ベビースケール
AD-6020



バリアフリースケール
AD-6105N

トピックス5～NFC通信機能付き健康機器



NFC通信機能付き体組成計・血圧計・体活動計は、おサイフケータイ対応のスマートフォンをかざすだけで、測定データを転送でき、転送されたデータは、スマートフォン上のアプリやインターネット上の健康管理サービスで使用できます。血圧や体重、体脂肪率などの数値、及びその変化を把握することで、手軽に日々の健康促進やダイエットなどの体重管理に役立てることが出来ます。



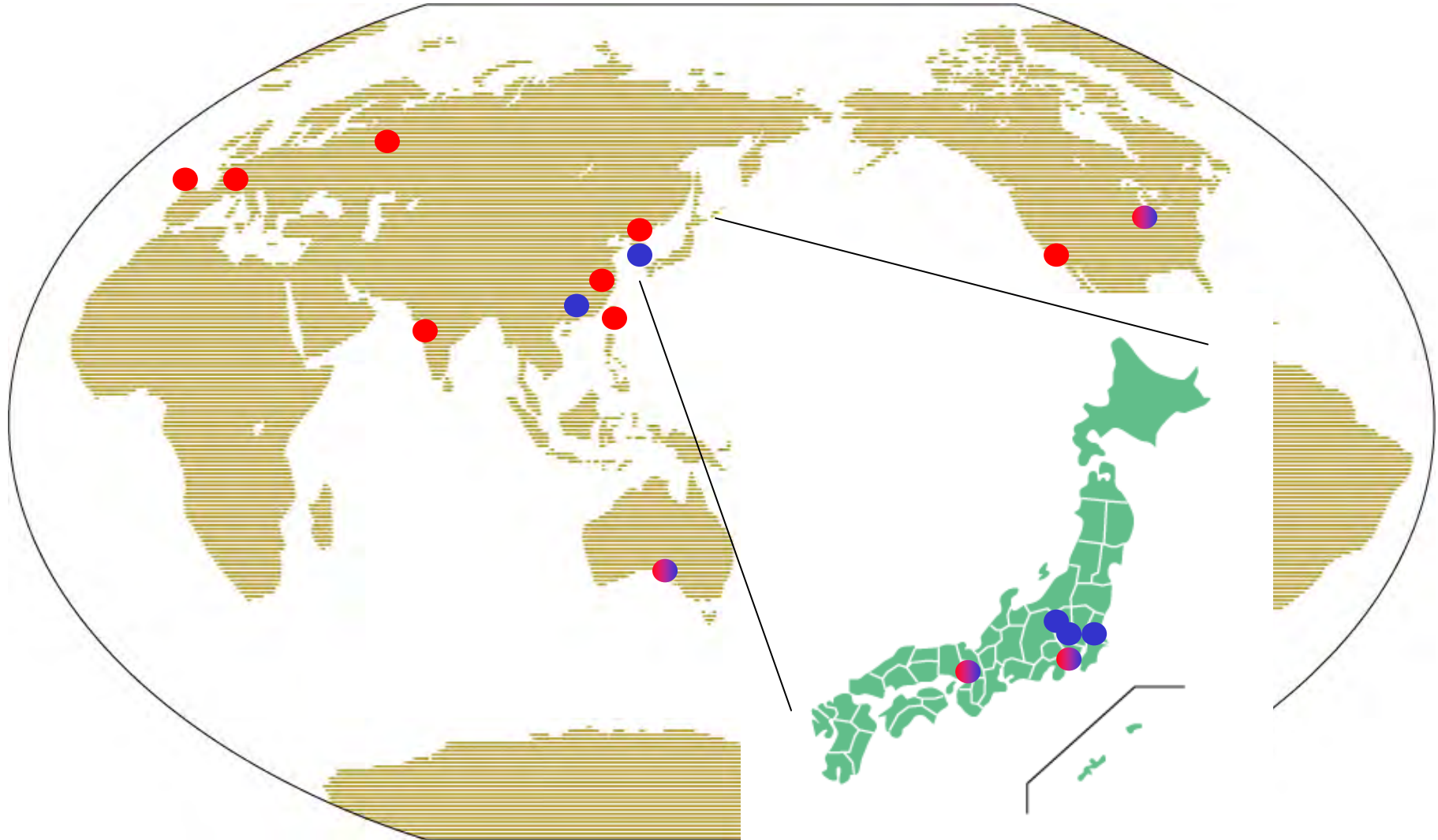
AND
株式会社 **エー・アンド・ティ**

補足資料



- 1 グループの概要
- 2 製品紹介（計測機器）
- 3 製品紹介（計量機器）
- 4 製品紹介（医療・健康機器）
- 5 DSPシステムとは
- 6 DSPシステムの採用事例－1
- 7 DSPシステムの採用事例－2
- 8 電子ビーム関連ユニット
- 9 開発の状況

グループの概要



A & Dは開発および販売を中心に活動
生産主体は国内外関係会社
海外販売は関係会社経由と直販を併用

- 生産・開発関係会社
- 販売関係会社

製品紹介（計測機器）

種 別	概 要	主 要 製 品
波 形 解 析	音・振動等時間的に変化する物理信号を収集および解析	波形解析システム、FFTアナライザ、データロガー
非破壊検査機器	超音波を利用して溶接欠陥や亀裂・腐食等を調査	超音波探傷器、超音波厚さ計
材 料 試 験 機	材料・部品の引っ張り圧縮強度や粘弾性・粘度を測定	引張圧縮試験機、動的粘弾性測定機、粘度計、摩擦摩耗試験機
電 子 計 測 器	プロからホビーや家庭まで、多種多様に取り揃えたデジタル電子計測機器	オシロスコープ、デジタルマルチメータ、タイマー、温湿度計、直流電源、壁内センサーetc.
油 圧 試 験 装 置	油圧サーボ機構を応用した各種試験装置	油圧式疲労試験機、油圧式振動試験機、油圧加振機等
環 境 計 測 機 器	各種排気ガス濃度測定器を始めとする環境計測機器	エンジン排ガス計測機器、燃料電池関連計測機器、各種ガス分析計等



万能材料試験機



動的粘弾性自動測定器



車載型リアルタイム
振動・騒音解析システム

熱中症計



超音波探傷器

製品紹介（計量機器）

種 別	概 要	用 途 等
電子天びん	軽量の物体の質量を高精度に計量する機器で、最大0.001mgまでの計量が可能	医薬品や精密材料等を対象に、研究開発向けから生産・検査まで幅広く使用
電子台秤	中・重量の物体の重量を計量する機器で、防水、防塵、防爆等、様々な環境に対応	厳しい環境下で使用される産業用から家庭で使用されるものまで、幅広い製品群をラインナップ
インジケータ	計量センサから得た信号を質量や力としてデジタル表示、及び制御を行う	粉・粒状物体の自動計量システム、台秤、トラックの積載量を計量するトラックスケール等に使用
ロードセル	金属製の起歪体に加わった荷重による歪みを検出して、電気抵抗値に変換するセンサ	台秤、トラックスケール、フックに吊り下げて計量するクレーンスケール、その他特殊用途に使用



分析用天秤



防水電子台秤



クレーンスケール



ウェィング・インジケータ



デジタル・ロードセル

製品紹介（医療・健康機器）

種 別	概 要	主 要 製 品	特 徴 等
病 院 用 デジタル血圧計	医療機関 や高齢者 介護施設 介護施設 向血圧計	携帯型自動血圧計	24時間の日常生活での血圧変動を測定
		血 圧 監 視 装 置	SpO2 (動脈血酸素飽和度) と血圧を同時監視
		バイタルセンサ	血圧・体温・SpO2・ECG等バイタルサイン測定
		全自動血圧計	腕を入れるだけでワンタッチ操作の自動測定
メ デ ィ カ ル 計 量 器	医療機関 や高齢者 介護施設 介護施設 向計量器	身長体重計	身長・体重をデジタル測定、肥満度等も表示
		ベッドスケール	治療時の体重変化を測定、監視、記録
		バリアフリー スケール	フラットな計量台、車イス乗車のままや、手すり につかまった状態で安全に計測
健 康 機 器	在宅での 健康管理 用機器	デジタル 上腕式 血 圧 計	血圧測定に不規則脈波検知、音声等も付加
		手首式	小型・軽量サイズで外出先でも手軽に血圧測定
		超音波吸入器	温熱、加湿効果でノド、鼻の不快感を緩和
		体 重 計	50g単位、肥満・痩せの基準BMIも表示



DSPシステムとは

DSPシステム

■ DSPシステムの特徴

- ◇自動車等の複雑な製品の開発・生産現場において、開発期間の短縮・ローコスト化を実現する画期的なシステムです

つないでテストする



エンジンの試作品



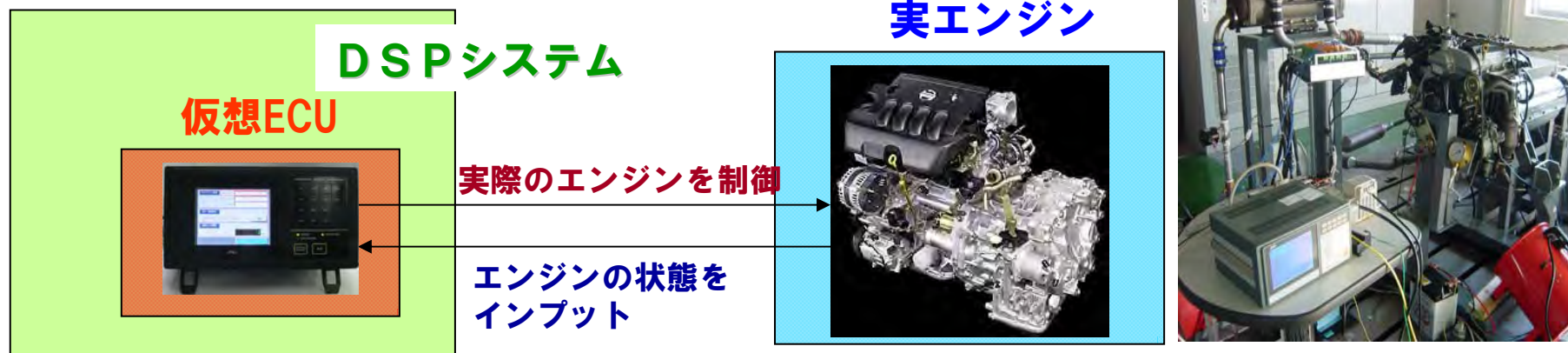
エンジン以外の車両部分をコンピュータにモデル化

エンジン以外の部分が完成していなくても、エンジンを実際の車両に搭載した場合を想定したテストを行う事が可能

DSPシステムの採用事例－1

RPT (Rapid Proto Type)

コンピュータ上にECUの試作モデルを作成して、実際のエンジンを制御してテストを行う



HILS (Hardware In the Loop Simulation)

コンピュータ上に仮想のエンジンや車両のモデルを作成して、試作品のECUのテストを行う



DSPシステムの採用事例－2

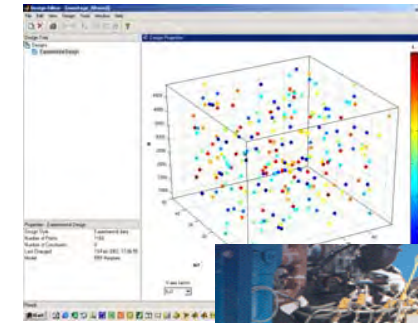
ORION

適合支援自動計測
ソフトウェア

1. 適合とは

ECU開発プロセスで、ECUがエンジンや変速機などの制御を最適に行うためにECUの設定作業（チューニング）を行うこと。

実験計画



2. ORIONの特徴

・フレキシビリティ

カスタマイズが容易で、ユーザーが計測アルゴリズムの作成等、各自の仕様に合わせて設定を変更出来る

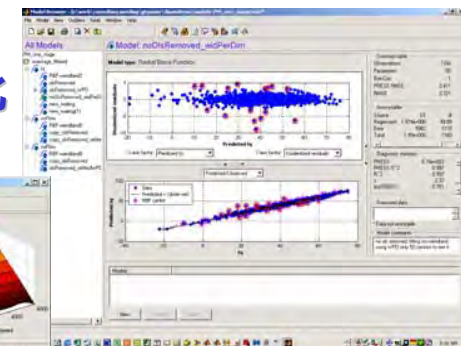
・オープン性

他のシステムとの接続が可能であり、今まで使用していた資産の有効活用が可能

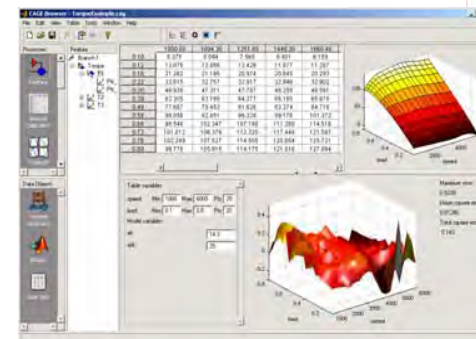
評価試験



ECUのモデル化



適合



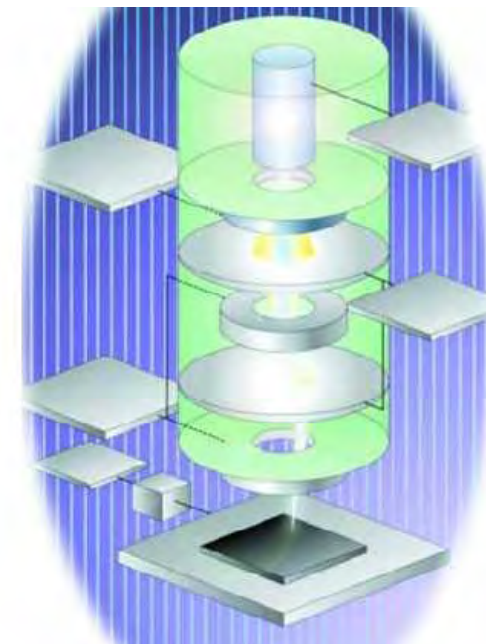
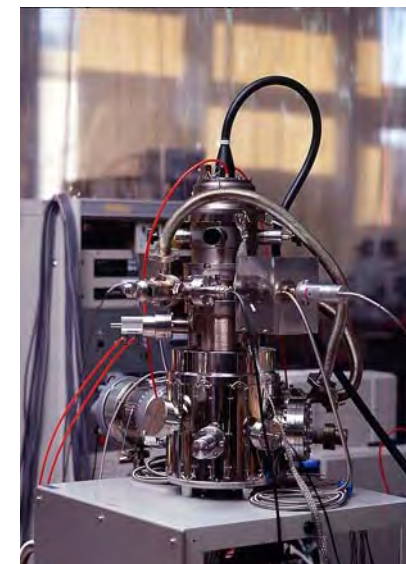
電子ビーム関連ユニット

電子ビーム関連ユニット

微細な半導体の回路を描画するための手段として、主にマスク製造（半導体のネガの様なもの）に電子ビームが利用されておりますが、当社は電子ビーム露光装置に組み込む基幹ユニットを半導体露光装置メーカーに提供しています

当社が提供する主要なユニット

- **ビーム偏向回路**
電子ビームの照射方向を制御するもので、精度・速度ともに世界最高水準です
- **電子銃**
電子ビームを発生させる設備で、世界でもトップクラスの出力と安定稼働率を備えています



開発の状況

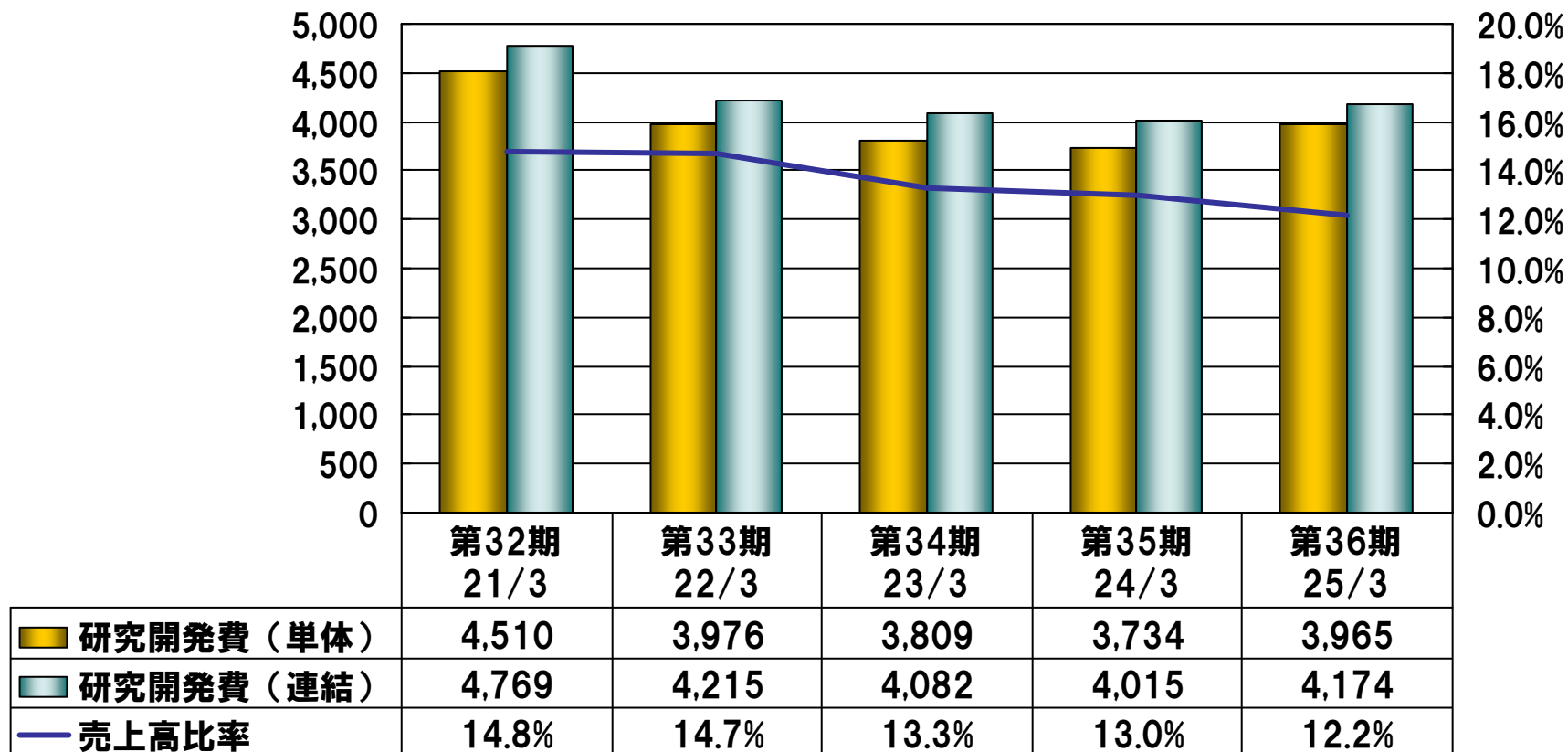


社内資源の多くを開発に投入し、
各事業分野で継続して開発を実施。

(平成25年3月末/A & D単体)

既存事業 198名 (53.2%) 開発人員比率
 新規事業 174名 (46.8%) (単体) は53.2%
 合計 372名

研究開発費
(単位：百万円)



※売上高比率は連結売上上で算出

AND
株式会社 **エー・アンド・ティ**